※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	４	年次	２～３
使用教科書	詳説世界史　改訂版（山川出版社）						
副教材等	21 世紀の歴史図鑑　ダイアローグ世界史図表（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教科書をベースに作成したプリントで学習を進めていきます。地図や資料を参考にしますので、毎回教科書と資料集は忘れないように持ってきてください。
日々の授業での学習も大事ですが、歴史を題材にした映画・漫画・ゲームなどで慣れ親しむことで、世界史により興味を持ってもらえると思います。楽しく学んでいきましょう。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界史の学習を暗記ではなく、歴史的事実や現象に関心をもち、意欲的にそれらを探求する態度を身につける努力をしている。	世界の歴史の事象や構造に問題を見いだし、分析したり、総合的に考えたり、科学的に思考したりできる。また、それを表現できる。	世界の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりできる。	世界の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際情勢と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・レポート課題 ・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・定期考査(論述問題) ・授業での発言・発表 ・課題の成果	・定期考査 ・レポート課題 ・課題への取組状況	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	序章　先史の世界	・先史の世界	○	○	○	○	a:人類の進化と文明やその特徴、人種・民族・語族といった概念について、関心を持って学習しようとしている。 b:人類の進化の過程、農耕・牧畜の開始の意義などを、多角的に考察し、文章にまとめる。 c:進化図や道具図、洞穴絵画などの図版や写真、教科書に掲載されている言語の系統分類表を適切に活用している。 d:人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第1章　オリエントと地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界	○	○	○	○	a:オリエント世界に発生した文明と、これらが地中海世界に与えた影響について、関心を持って学習しようとしている。 b:古代オリエントの文明が現代にまで与える影響や、東西諸民族の交流がギリシアやローマに与えた影響を考察し、文章にまとめる。またローマ皇帝の理念やキリスト教の発展をもたらしたローマ文明と、のちのヨーロッパ世界との繋がりを多角的に考察し、文章にまとめる。 c:古代オリエント・ギリシア・ローマ世界の資料・図版・写真などを適切に活用している。 d:西アジア・地中海世界の地理的特質、ギリシア世界とローマ世界に関する基本的知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第2章　アジア・アメリカの古代文明	・インドの古典文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	○	○	○	○	a:各地域の文明の盛衰や宗教、社会制度、国家形成の過程について、関心をもって学習しようとしている。 b:アジア諸地域におけるインド世界の多様性、中国が周辺地域に与えた影響、独自に発達したアメリカ大陸の文明について把握し、多角的に考察し、文章にまとめる。 c:各地域の文明の盛衰や宗教、社会制度、国家形成の過程について諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d:各地域の文明の盛衰や宗教、社会制度、国家形成の過程についての基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第3章　内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	a:内陸アジア世界の形成過程や、東アジア世界の成熟に伴う、日本への影響について、関心をもって学習しようとしている。 b:内陸アジア世界の形成過程や、東アジア世界の成熟に伴う、日本への影響について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c:内陸アジア世界の形成過程や、東アジア世界の成熟に伴う、日本への影響に関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d:内陸アジア世界の形成過程や、東アジア世界の成熟に伴う、日本への影響についての基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第4章　イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・イスラーム文明の発展	○	○	○	○	a：アラブ人によるイスラーム世界形成の背景、トルコ系民族の活動、諸地域へのイスラーム化、イスラーム文明が現代に与えた影響について、関心をもって学習しようとしている。 b:イスラーム世界の形成と発展の過程が、周辺地域における内陸・海上交易の活発化とともに進展していったことを関連付けて多角的に考察し、文章にまとめる。 c:イスラーム世界の形成と発展の過程に関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d:イスラーム世界の形成と発展についての基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第5章　ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・ヨーロッパの中世文化	○	○	○	○	a:ローマ帝国東西分裂後のヨーロッパ世界、ビザンツ帝国の動向、十字軍以降の西ヨーロッパ世界の変容、キリスト教の影響を強く受けたヨーロッパ文化について、関心をもって学習しようとしている。 b:中世ヨーロッパ世界と文化がキリスト教と密接に関連して形成・発展していったことを多角的に考察し、文章にまとめる。 c:中世ヨーロッパ世界とキリスト教に関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d:中世ヨーロッパ世界とキリスト教についての基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

前期	第6章　内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	○	○	○	○	a:内陸アジア世界と東アジア世界がモンゴル民族の下、大帝国に再編されていく過程について、関心をもって学習しようとしている。 b:内陸アジア世界と東アジア世界がモンゴル民族の下、大帝国に再編されていく過程や結果を多角的に考察し、文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている内陸アジア世界と東アジア世界の領域図や、系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:内陸アジア世界と東アジア世界がモンゴル民族の下、大帝国に再編されていく過程を、日本の歴史と関連づけながら理解し、基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第7章　アジア諸地域の繁栄	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○	○	○	○	a:清をはじめとした東アジア世界、トルコ・イラン世界、ムガル帝国と周辺の世界について、関心をもって学習しようとしている。 b:この時期のアジア諸地域に出現した王朝や帝国の特色や形成過程について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c:教科書に掲載されているこの時期のアジア諸地域に出現した王朝や帝国の領域図や、系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:清をはじめとした東アジア世界、トルコ・イラン世界、ムガル帝国と周辺の世界について、日本の歴史と関連づけながら理解し、基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
前期	第8章　近世ヨーロッパの形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○	○	○	a:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制の成立の背景と過程について、関心をもって学習しようとしている。 b:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制の成立と過程について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制に関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d:大航海時代におけるヨーロッパの海外進出、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパの主権国家体制に関する、基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第9章　近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18 世紀のヨーロッパの文化と社会	○	○	○	○	a:17～18 世紀におけるヨーロッパの諸主権国家の動向や海外進出について、関心をもって学習しようとしている。 b:17～18 世紀におけるヨーロッパ諸国家の動向を、経済活動の活発化と植民地の争奪と関連付けて、多角的に考察し、文章にまとめる。 c:17～18 世紀におけるヨーロッパの諸主権国家の動向や海外進出に関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d:17～18 世紀におけるヨーロッパの諸主権国家の動向や海外進出について基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第10章　近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○	○	○	○	a：イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について、関心をもって学習しようとしている。 b: イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c: イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響に関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d：イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

後期	第11章　欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19世紀欧米の文化	○	○	○	○	a：ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動について、関心をもって学習しようとしている。 b：ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているヨーロッパ諸国や南北アメリカに関する諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d：ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第12章　アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○	○	○	○	a：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国とアジア諸地域の変容について、関心を持って学習しようとしている。 b：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国とアジア諸地域の変容について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている 19 世紀のバルカン半島やアジア諸地域の動向をあらわす諸資料・地図・写真などを収集し、適切に活用している。 d：世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力の干渉によるオスマン帝国とアジア諸地域の変容に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第13章　帝国主義とアジアの民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○	a：帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化について、関心を持って学習しようとしている。 b：帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている移民や列強の海外植民地面積の比較図、カリブ海地域、アフリカ、アジア諸地域の地図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d：帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化に関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第14章　二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○	○	○	○	a：第一次世界大戦勃発の経緯、戦時外交と総力戦の性格第二次世界大戦の開戦に至る経過、戦争の拡大、大量破壊兵器の被害などを、関心を持って学習しようとしている。 b：第一次世界大戦勃発の経緯、戦時外交と総力戦の性格第二次世界大戦の開戦に至る経過、戦争の拡大、大量破壊兵器の被害について、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているバルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域や領土拡大、新兵器や第二次世界大戦でのヨーロッパ戦線や太平洋戦争の地図、図版・写真などの地図や図版などの諸資料を適切に活用している。 d：第一次世界大戦勃発の経緯、戦時外交と総力戦の性格第二次世界大戦の開戦に至る経過、戦争の拡大、大量破壊兵器の被害などに関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
後期	第15章　冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○	○	○	○	a：米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造、アジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して、関心を持って学習しようとしている。 b：米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造、アジア諸地域の独立と建国時の困難さに関して、多角的に考察し、文章にまとめる。 c：教科書に掲載されているドイツとベルリンの分割図、第二次世界大戦後のアジア諸地域の独立に関する地図、図版・写真など諸資料を適切に活用している。 d：米・ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造、アジア諸地域の独立と建国時の困難さなどに関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

後期	第16章　現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸相	○	○	○	○	a：通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し、地球規模での相互依存の高まりに関心を持って学習しようとしている。 b：通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し、地球規模での相互依存の高まりに関して、多角的に考察し文章にまとめる。 c：教科書に掲載されている独立国家共同体、ヨーロッパ統合の歩み、途上国の様相、地域紛争に関する地図、図版・写真など諸資料を適切に活用している。 d：通商の自由化と市場経済の世界化がより進展し、地球規模での相互依存が高まりに関する基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。